

## B101

## 群馬県下における労働者のストレス状況と事業場のメンタルヘルス対策実施状況－アンケート結果の分析－

安井 省侍郎<sup>1</sup><sup>1</sup>厚生労働省 群馬労働局 安全衛生課

## 【調査の概要】

群馬労働局では、平成16年6月に、(1)群馬県下の労働者のストレス状況と望んでいる対策内容、(2)事業場のメンタルヘルス対策の取組状況の把握を目的として、アンケート調査を実施した。回収率等については、労働者調査の提出数は606件、回収率は63.9%、事業場調査の提出数は669件で、回収率71.8%であった。

## 【調査結果】

## (1) 労働者のストレスと対策

労働者の74.7%が何らかのストレスを感じ、そのうち83.1%が事業場に対応を期待しているのに対して、実際に対策を実施している事業場は26.0%に過ぎない。規模別では、300人規模以上の事業場では概ね8割の事業場が対策を実施しているが、労働者数50人未満の事業場では、3割程度しか実施されていない。

## (2) 相談体制の整備とプライバシーの保護

労働者が最も期待する対策は、相談体制の整備(55.5%)であるが、対策実施事業場でも35.6%の事業場しか相談を実施していない。規模別に見ると、300人以上の規模の事業場では約7割が相談を実施しているが、50人未満の事業場では3割程度となっている。また、労働者の多くは相談内容の秘密保持を望んでおり(46.9%)、相談体制がうまく機能するためにはプライバシーの保護の仕組みの確立が必要不可欠である。さらに、休業した後の職場復帰の対策を講じている事業場は、対策実施事業場の中でも37.1%にとどまり、適切な職場復帰対策の普及が必要である。

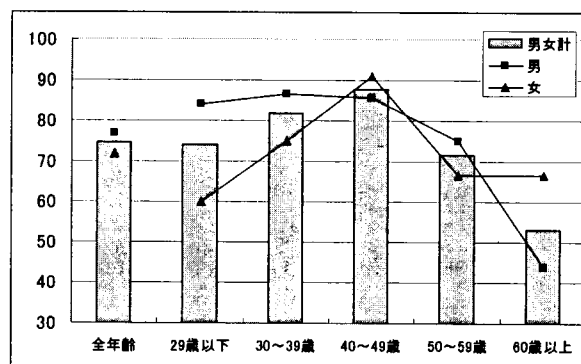
## (3) 就業上の対応・職場環境の改善

ストレスの原因として仕事への適性をあげている労働者も多く(30.1%)、ストレス対策として配置転換等の措置を求める労働者も多い(27.8%)。さらに、配置転換等の際、30.8%の労働者が自らの意志尊重を求めており、人事・労務部門と労働者の合意形成の仕組みが必要である。また、職場の人間関係がストレスの要因として大きく(43.2%)、管理職に対する

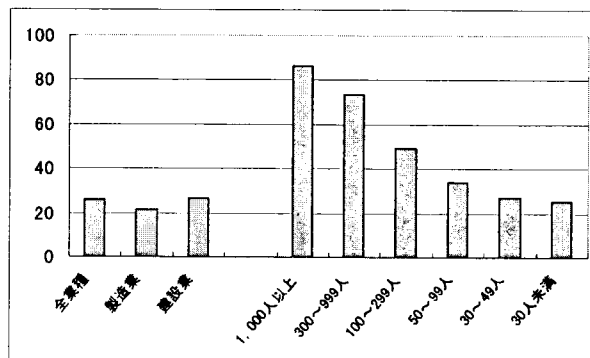
教育の要望も高く(40.9%)、適切な実施が望まれる。仕事の質(47.0%)や量(39.9%)によるストレスも多く、労働時間短縮等の就業条件の改善も必要である。

## 【群馬労働局の対応】

対策に取り組んでいない理由として、取組方法が分からない(48.3%)、専門スタッフがない(38.6%)が多かったため、群馬労働局では、群馬産業保健推進センターと共同で専門家による検討会を設置し、体制整備、事案発生時の対応、医療・カウンセリング機関リスト等についてまとめた「対応マニュアル」を作成し、関係方面に対して配布を行っている。



第1図 不安、悩み、ストレスがある男女別年齢別労働者の割合(%) (MA)



第2図 心の健康対策取組を実施している事業場割合(%) (業種別・規模別) (MA)